

夢、私たちに。

わたしのひとこと



白馬で家業をついで、 気が付いたこと

白馬町 伊藤 康介

私の家族は白馬駅前で飲食店と土産品店を営んでいます。高校時代に高齢だった祖父母の姿を見て、高校卒業後に家業を継ぐことを決意しました。

家業を継いで早三年が経ち、白馬に残り仕事するうえで気が付くことが沢山ありました。それは本当に皆さんに気にかけていただき、そして助けられていた事です。幼いころから、周りの人の言葉や教えてもらった知識が、今の生活に生きていると感じる瞬間が多々あります。

そして今では支えてくれる周囲の人も増え、僕の行動や言動にアドバイスや意見をいただきながら、日々の生活の中での課題や、やるべきこと、この白馬でやっていきたいことも増えてきました。まだまだ未熟者の私ですが、これからもご指導ください。

よろしくお願ひします。



今こそ繋がりを…

八方口 伊藤 恵美

名古屋から移住したと供に飲食店を始めて8年が経ちました。学生の頃から親しんだこの地に住めたことの喜び、そして苦悩、葛藤。日々もがきながらもこの村の宝である自然に癒されながら、あっという間の8年でした。

私はこの村の優しさが好きです。ご近所さま、知り合う皆様が地元、移住、海外と多種多様で魅力的な方々ばかり。こんな場所は全国探してもなかなかないでしょう。

ただ少し残念に思うのが、地区や村以外の「横」の繋がりが思ったよりも少ないことです。今年から発足したある女性の会に参加しています。

白馬は人材の宝庫だと思ったと同時に、なぜ近くに居ながら知り合う機会さえ無かったのだろうと。繋がりにから生まれた新たな力、それを目の当たりにして、改めて「枠」を取り払う時が来ているのだと実感しています。



安心・安全な地域づくり

深空 郷津 純治

近年、集中豪雨や自然災害が全国各地で大きな被害をもたらしています。また、近い将来においては南海トラフ地震等の大規模地震の発生が懸念されており、安心・安全に関する地域住民の皆さんの関心が高まっています。

白馬村でも、平成26年の神城断層地震により、大きな被害をもたらしました。住民が安心・安全に暮らせる取組として、防災対策は行政上最も重要な施策だと考えます。しかしながら、ひとたび災害が発生した場合、被害の拡大を防ぐには、国や県、市町村の対応「公助」のみでなく「自分たちの命は自分たちで守る」という自助または共助が不可欠です。

住民一人ひとりが防災意識を高め、「隣保共同の精神」で普段から地域の活動や行政との連携を強化し、いざというときの防災活動が重要であると考えます。

あ と が き

このところ、日本列島で2年おきぐらいに大きな地震が発生している。6月末、議員研修で熊本地震により全域が被災した益城町議会を訪ねた。震度7が2回発生した爪痕は大きく、役場庁舎、議会棟も被災し現在はプレハブ庁舎で行政対応していた。自然災害に対する住民のやり場がない生々しい感情を稲田議長から聞くことができた。

先日発生した大阪北部地震の現場でも同様な住民感情が想像できる。未だ、東日本震災で避難生活をしている住民の方の心の安らぎはいっ来るのだろうか。災害列島日本、被災者に寄り添う気持ちの大切さを、改めて再確認した研修だった。

(田中 榮一)

議会報調査編集特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 議長 | 北澤 慎二 |
| 委員長 | 伊藤 まゆみ |
| 副委員長 | 田中 麻乃 |
| 委員 | 丸山 勇太郎 |
| 委員 | 太田 正治 |
| 委員 | 加藤 亮輔 |
| 委員 | 田中 榮一 |
| 委員 | 津滝 俊幸 |

白馬議会だより 125号
平成30年7月31日発行

発行 長野県白馬村議会
編集 議会報調査編集特別委員会
印刷 PO印刷(株)

〒399-9393 長野県北安曇郡白馬村
☎ 0261 - 72-5000 FAX0261 - 72 - 7001
http://www.villhakudajp/assembly/assembly.html E-mail ghka@villhakudajp